

2025年度O-40神奈川リーグ 兼 2026年度 JFA第14回全日本O-40サッカー大会関東大会神奈川県予選会

運営要項細則【運営マニュアル】

1. 登録手続き(運営要項 第8条 第9条関連)

- (1) 2018年シーズンより、全国のルールに合わせ、シニア登録の選手のみが出場可となり、第1種社会人登録選手の出場は出来なくなった。
- (2) 2019年シーズンより、全国のルールに合わせ、O-40神奈川リーグへの参加は単独チームでなければならないものとする。従って、メンバー表に登録する選手は、全員が同じJFA登録チームで登録しなければならない。
- (3) 選手を追加登録する際は、様式3(選手追加登録申込書)と承認済みのWebサイトの選手情報をPDFファイルでメールに添付してシニア部会宛に送ること。土曜日のリーグ戦に出場させる(新しいメンバー表を発行する)ためには、その週の火曜日までに上記書類を送付すること。

※水曜日以降に申請があった場合、日々の事情で対応できない場合もあるため、公平性を保つため、メンバー表の発行を翌週に回します。

2. 入替戦について(運営要項 第9条関連)

- (1) リーグ最終戦から入替戦までの選手補強については、1シーズン戦ってきたメンバーで対戦することを原則とし追加登録は3名までとする。(2022年12月運営委員会で確認)
- (2) 1部リーグと2部リーグの入替戦に対して同年度リーグ戦の累積警告による出場停止処分は適用しない(繰り越さない)ものとする。(2023年3月運営委員会で確認)
- (3) 同様に2部リーグの順位決定戦についても同年度リーグ戦の累積警告による出場停止処分は適用しない(繰り越さない)ものとする。
- (4) 一発退場による出場停止処分についてはシニア部会の判断で出場停止試合数を決定して通知し、次の公式戦で履行されるまでその効力は継続する(入替戦、順位決定戦、次年度リーグ戦に反映)ものとする。

3. 試合実施上の注意事項(運営要項 第12条関連)

- (1) 円滑な試合運営のため試合終了後、相手ベンチ及び本部への挨拶は行わない。
- (2) ハーフタイムは対戦チームの控えのアップ場所であり、5分のインターバルで速やかに後半を始めるため、次の対戦チームのアップを認めない。

- (3) 7月～8月は熱中症対策として9時～16時までの昼間は公式戦を実施しない。
- (4) 夏季の試合において、開始時点でWBGT計が28℃を超えた場合は飲水タイムを試合時間に追加せずに前後半2回ずつ取る。31℃を超えた場合は、両チーム運営委員、インスペクターで協議し、実施の可否を判断する。実施の場合は定刻開始を厳守し、開始時刻を遅らせてはならない。
- (5) 6月～9月はナイター試合であっても、原則として前後半1回ずつ、試合時間に追加せずに飲水タイムを取ることとする。その他の期間においては、試合開始前に両チームの運営委員が協議して必要に応じて飲水タイムの採用を決定し、審判員に依頼する。

(6) 雷発生による試合中断・再開・中止の判断基準は次のとおりとする。

- ・雷鳴が聞こえ、雷光が確認された場合は、審判員、インスペクター（配置されている場合）、両チームの運営委員で協議して試合を中断する。
- ・気象庁の「雷ナウキャスト」等により情報収集し、安全な場所で待機する。
- ・雷活動（雷鳴・雷光）が止んでから10分程度は経過を観察し、審判員、インスペクター、両チームの運営委員で協議の上、雷発生の危険性が無くなったと判断された場合は、試合を再開する。
- ・前半途中で試合が中断し、再開後、次の試合開始時刻までの間で前半が終了できる場合は試合を再開させ、前半終了まで試合を実施する。後半途中で中断した場合は、残り時間が足りなくなるため試合は再開させない。

(7) 試合中止、中断後再開時における試合成立の基準は次のとおりとする。

- ・雷発生等により試合を中止した場合、前半戦が終了している試合は、その時点のスコアで試合成立とする。警告・退場もその時点の結果を記録する。
- ・後半の途中で試合を中断させた場合は、その時点で試合終了（再開させても時間が足りないため）とし、前半終了時点までのスコアで試合成立とする。警告・退場もその時点の結果を記録する。
- ・試合開始時点での中止、もしくは前半途中での終了の試合は不成立で再試合とする。
- ・いずれの場合でも、各試合の中止、中断、再開は、各々の試合時間内で完結させ、次の試合に影響させないように終了させる。（次の試合の定刻開始に影響させない）
- ・試合の中止、中断等の措置を取った場合は、ホームチーム（インスペクター）は運営委員長まで電話で連絡し、終了後、速やかに書面（様式6）で状況を報告する。
- ・試合の成立、不成立にかかわらず、試合を開始した場合には、審判謝礼は全額支払い、必ずサインをもらう。
- ・深刻な怪我人が発生し、救急車の要請等で長時間ゲームが中断した際の扱いに

については、この原因による中断時間が全試合時間の3割(15分)を超えた場合、試合は不成立とし、後日、再試合とする。(審判謝礼は支払う)
なお、次の試合は必ず定刻で開始させること。

4. ユニフォーム(運営要項 第12条関連)

- (1) ホームチームはあらかじめ「ホームチームのユニフォーム一覧」に登録したユニフォームを着用し、アウェイチームは見分けやすいユニフォームを選択して着用する。両チームのユニフォームの組み合わせ上、この方法が適切でない場合は、両チームで協議してユニフォームの色を決定する。
- (2) シャツのインナーは、チーム内で統一されていればシャツと異色でも構わない。但し、異色の場合は全員が着用しなければならない。(同色の場合は長袖・半袖混在でも構わない。)
- (3) パンツのインナーもチーム内で統一されていればパンツと異色でも構わない。但し、異色の場合は全員が着用しなければならない。(同色の場合は着用・不着用混在でも構わない。)
- (4) パンツのインナーにおいて黒のコンプレッションタイツを着用する選手が多いことから、黒に限り、パンツと異色で、チーム内不統一であっても着用を認めることとする。但し、チーム内に黒以外の色のタイツを着用している選手が混在することは認めない。

【参考】 インナーとタイツに係る事例解説

ユニホーム規定（インナーとタイツ）

●シャツとインナーシャツ(アンダー長袖)

事例	インナー	選手A	選手B	選手C	判定	備考
1	インナー	無し	無し	無し	OK	全員がインナー着用無し
2	インナー	無し	同色	無し	OK	一人だけシャツ同色インナーを着用
3	インナー	無し	異色	無し	NG	一人だけシャツと異色のインナーを着用
4	インナー	無し	同色	異色	NG	シャツ同色と異色のインナーが混在
5	インナー	同色	同色	同色	OK	全員がシャツ同色インナーを着用
6	インナー	異色	異色	異色	OK	全員がシャツと異色のインナーを着用
7	インナー	同色	同色	異色	NG	シャツ同色と異色のインナーが混在

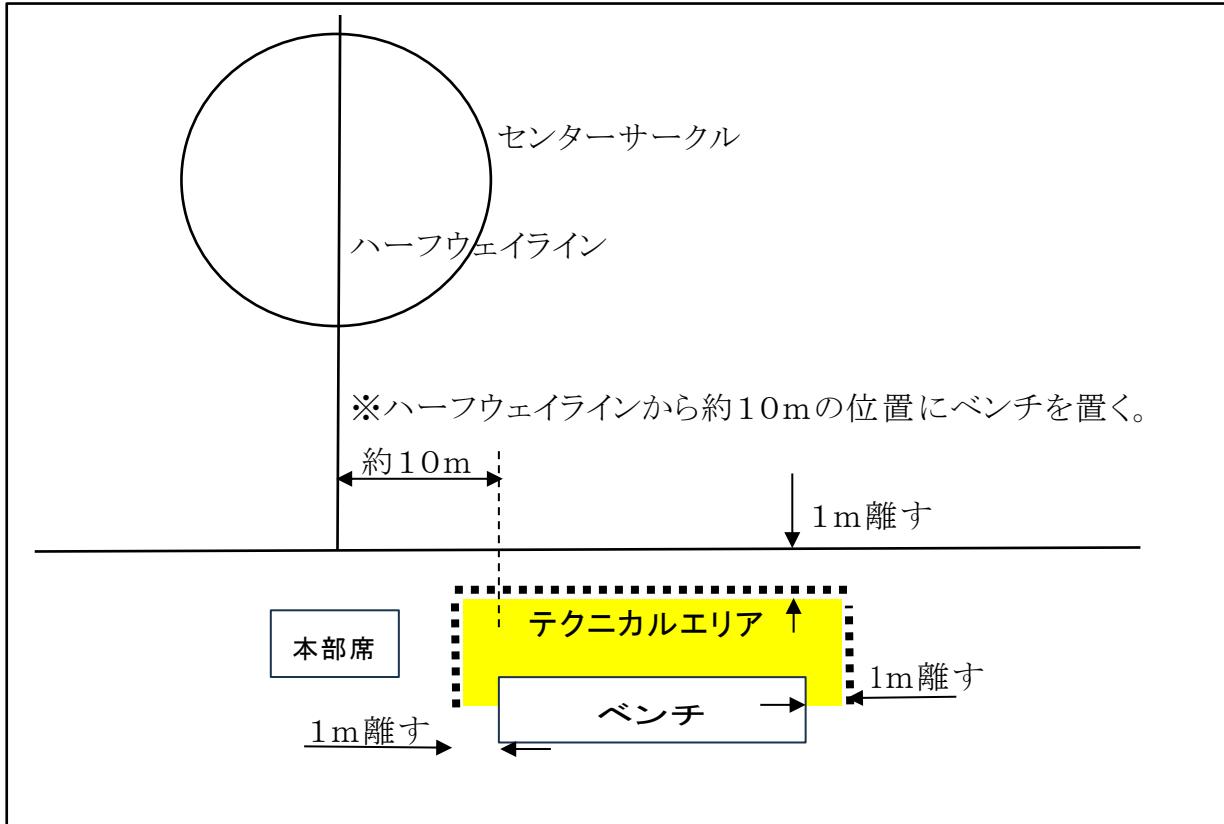
●パンツとタイツ(コンプレッションタイツを含む)

事例	タイツ	選手A	選手B	選手C	判定	備考
1	タイツ	無し	無し	無し	OK	全員がタイツ着用無し
2	タイツ	無し	同色	無し	OK	一人だけパンツ同色タイツを着用
3	タイツ	無し	異色	無し	NG	一人だけパンツ異色タイツを着用
4	タイツ	無し	黒	無し	OK	一人だけパンツ異色の黒タイツを着用
5	タイツ	無し	同色	黒	NG	パンツ同色と黒タイツが混在
6	タイツ	同色	同色	同色	OK	全員がパンツ同色タイツを着用
7	タイツ	異色	異色	異色	OK	全員がパンツ異色タイツを着用
8	タイツ	黒	黒	黒	OK	全員がパンツ異色の黒タイツを着用
9	タイツ	同色	同色	黒	NG	パンツ同色と黒タイツが混在

5. 試合会場、運営上の注意事項(運営要項 第12条関連)

- (1) 動画の撮影について、かもめパークや馬入（人工芝）のようにネットフェンスで囲まれている会場においては、ネットフェンス内での撮影は認めない。その他、ベンチと背後地に区切りの無い会場においては、運営の邪魔にならない場所でベンチより後方において、審判員及び相手チームの了解を得た上で撮影は認める。
- (2) ベンチに入れる者は登録選手の他、メンバー表の役員欄に記載されたコーチ等のみとする。子供は危険も伴うためベンチに入ることを認めない。ネットフェンス等で囲われた試合会場の場合はフェンス外に待機させること。
- (3) 試合会場の都合で可能な場合は、ベンチの周囲にテクニカルエリアを設置する。テクニカルエリアの設置方法は下記のとおりとするが、ベンチが固定されている場合はこれによらず、適宜、現地に合わせて設置する。
- (4) ベンチから立ってテクニカルエリア内で選手へ指示を出せるのは1名とし、指示を出し終わったら着席する。（テクニカルエリア内のマナー）

【参考】 テクニカルエリアの設定方法



6. ホームチーム及び本部役員の役割(運営要項 第13条関連)

【ホームチーム】

(1) 審判謝礼の準備

審判員への謝礼を用意する。(主審4,000円、副審3,000円)

※封筒にチーム名を記載する。(渡し忘れ防止のため)

(2) 試合会場の準備

①各会場のルールに則り、ゴール及びコーナーフラッグ等の準備をする。

②本部の設置(テーブルやベンチフード棟)

(3) 試合会場の片付け

①ゴール、コーナーフラッグ等、使用したものを元の位置に戻す。

②テーブル、ベンチフード等使用したものは必ず元の場所に戻す。

【対戦する両チームの対応】

(1) 試合前の事務処理

①メンバー表は30分前までに相手チームとレフリーに提出

②試合球をレフリーに提供(レフリーは事前にチェックするので時間厳守)

※相手チームの提出状況も確認し、まだの場合は催促すること

※試合球は原則としてリーグ支給の共通試合球を使用する

(2)試合会場の準備

両チームで協力して、各試合会場のルールに則り、試合準備をする。

(3)試合会場の片付け等

①最終試合のチームは、使ったものを元の位置に戻し、片付けを行う。

②更衣室、シャワー室の清掃、忘れ物のチェックを行う。

【本部役員の対応】

(1)レフリーへの事前確認(第1試合の本部役員のみ)

前日までに割り当てられた審判員(主審及び副審2名)に電話で、試合開始時間と試合会場、対戦カードを確認する。(審判割付表はメールで送ります。)

(2)遅くとも試合開始時刻20分前までには現地到着

(3)試合前の準備

①レフリーへのレギュレーションの説明

②「試合結果報告書兼領収書」を用意する。(前試合の役員から受け取る。)

③審判の謝礼をホームチームから預かる

④用具チェックの済んだレフリーからメンバー表を本部用に借用

(4)試合中の役割 **※「試合中の選手交代手順」参照**

①交代選手のメンバー表チェック(選手の確認とメンバー表への記録)

②選手交代時の手続き及び用具チェック

(5)試合終了後の事務処理

①レフリーに確認しながら「試合結果報告書兼審判領収書」にスコア、退場・警告の選手名、理由を記入する。

②審判謝礼を支払い、サインをもらう。

③両チームの代表にも確認し、サインをもらう。

④次の試合がある場合は、本部役員に「試合結果報告書兼審判領収書」を引継

⑤最終試合の本部役員は、当日中に、運営委員会への全員返信メールで試合結果を送信するとともに、全ての「試合結果報告書兼審判領収書」を速やかに久保まで郵送する。(馬入ふれあい公園の場合は、使用許可書も忘れずに郵送する。)

【参考】試合中の選手交代手順

1. 交代する選手が本部へ来た場合

交代する選手より「OUTする選手の背番号」「INする選手の背番号」の確認を行う。

①「メンバー表の交代欄」に上から背番号を交代する順に記載する。

②その日の試合で登録してある選手か否かも必ず確認する。

※ユニフォーム等を着用せず本部へ来る選手が見受けられるが、きちんと用具等を装着してから本部へ来るよう促す。

◎試合が止まったタイミングで、以下の手続を行う。

2. 選手交代の補助…主審へ交代する選手のお知らせ

本部役員も交代選手も中央タッチライン前に出て主審に交代する旨を伝える。

①グラウンドに向かって本部役員の右側に交代選手を並ばせること。

②「主審！交代お願いします」と大きな声で主審を呼ぶ。

③主審が気付いたら交代する「チーム名」「OUT選手の背番号」を大声で伝える。

例：「主審(レフリー)！交代お願いします！〇〇(チーム名)！！

10番(背番号)アウトです！！ 大きな声で

3. 本部役員が交代する選手の用具をチェックする

試合開始前に審判員が登録選手全員の用具チェックを行うように促す。

①試合中に「INする選手」の用具チェック等は本部役員の役割。

②再入場する場合も、一旦用具を外している可能性があるため用具はチェックする。

ユニフォーム(背番号)、レガース・スパイク着用など、必要最低限の用具チェックを
本部役員が行う。

4. グラウンドへ入場させる際

「OUTする選手」がグラウンドから出たのを確認してからの入場となる。

①「OUTする選手」はグラウンド内の一一番近い場所から退場するように促す。

5. 應用編

「飲水タイムで交代」する場合や「たくさんの交代選手」が見受けられた場合には、焦らずに「INする選手」と「OUTする選手」をタッチライン上に並べて、「主審」や「副審」が確認してから入退場させること。

後半が始まる直前に交代を申し出て試合再開が遅れるケースがある。ハーフタイムには、両チームに後半からの選手交代がないか、一声かけること。

7. 本リーグ戦で使用する各グラウンドの利用上の注意事項

(1) YC&AC グラウンドの利用上の注意事項



YC&AC フィールドを使用する際の注意事項

1. 水以外の全ての飲食物はフィールド内へは持ち込まないでください。
2. スパイクは人工芝用の物をご使用ください。鉄製スタッドまたは鉄製ポイントのスパイクではプレーできませんのでご注意ください。
3. フィールド内は全て禁煙です。喫煙は指定の位置でお願い致します。
4. フィールド内及びプレー中はあめ玉、ガム等は食べないで下さい。
5. フィールド及び天然芝エリア内にペットを連れ込まないで下さい。
6. お子様がフィールド上でお遊びになる際には、ゴムチップまたは人工芝を引き抜かないようお願い申し上げます。

YC&AC ゲスト駐車場利用に関して

1. ゲストの方は必ずテニス横のゲスト専用駐車場をご利用ください。
2. 一日の駐車料金は、一台につき 1,500 円になりますので、ご了承ください。
3. 大型バスなどは道幅が狭いため、ご利用できませんのであらかじめご了承ください。

YC&AC では、この財産でもあるすばらしいスポーツ環境と施設を清潔に、そしてより価値のあるものにしていくために皆様のご協力を必要としています。YC&AC メンバーのみならずご利用頂く全ての皆様に100%のパフォーマンスが出来るよう、上記の各項目を含め、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(2) 南足柄市体育センターグラウンドの利用上の注意事項

令和6年9月25日(更新)

【南足柄市体育センターの使用にあたっての注意事項】

南足柄市体育センターの使用にあたっては、継続的に使わせてもらえるよう、ルールをしっかりと守ってご利用下さい。なお本会場には、インスペクターを就けていますので、会場内ではインスペクターの指示に従って下さい。(インスペクターはオレンジ色のビブスを着用)

- 駐車場は無料です。(シニアサッカーは、下図のP2、P3を使用して下さい。)
- 敷地内は完全禁煙です。喫煙はご遠慮下さい。
- 更衣室の利用は21時まで。(時間厳守) 通路での着換えは厳禁
- 本館への入館通路口の障害になる場所での集合、ミーティング、物置きをしないこと。
- ネットに向けてのボール蹴りは禁止です。
- ピッチ内は飲食禁止で、ドリンクは水または、お茶のみです。
- アップ場所 1試合目は敷地外の公園部分(下図参照)、2試合目はピッチ内空きスペースを使って下さい。
- グラウンドの準備は、ゴールの移動及びフラッグの設置となります。皆で協力して、速やかに準備して下さい。(片づけも同じです。)
- 本部用に机×1、椅子×3、審判用に机×1、椅子×3を施設から借用します。
- 上記備品の借用は、西湘の担当者が案内しますので、片付けも指示どおり行って下さい。
- 施設利用の支払い及び領収書発行は西湘が行います。
- 備品の借用及び返却場所…机はグラウンド前の施設裏手にある倉庫内から、フラッグと椅子はグラウンド内にある白い倉庫内から借用及び返却して下さい
(西湘の担当者が居ない場合も同じですが、その場合は念のため施設スタッフに確認して当日の本部役員間で引き継いで下さい。)

【参考図】



(3) 萩野運動公園競技場の利用上の注意事項

令和6年4月11日

萩野運動公園競技場の利用上の注意事項

- 当会場は厚木シニア40が確保してくれました。木村氏または萩原氏の指示に従って下さい。
- 競技場内への入場は15時30分ごろ受付を済ませてからになります。入場の用意が出来ましたら皆様にお声がけをいたします。それまでは競技場の外でお待ち下さい。
- 選手の皆さんはテニスコート側にあるゲートから入退場をしてください。スタンド中央にある出入口は使用しないでください。
- 競技場内への入場は選手とスタッフのみとなります。ご家族や応援の方はスタンドをご利用下さい。
- 更衣室は使用可能ですが、テニスコート利用者と共にになりますので、お荷物は競技場内までお持ち下さい。競技場内スタンド側の緑のターラン部に各チームでまとめて下さい。
- 第1試合のチームは、ゴール、人工芝、ベンチの設置など会場準備にご協力下さい。
- 第3試合のチームは、片付けにご協力をお願いします。
- 試合前のアップは、緑色のターラン部と陸上コースの外側部でランニング等(ボールは使用不可)が可能です。ピッチ内でボールを使ったアップは試合前5分程度のみとなります。
- 隣接する広場で軽くアップはできます。広場を使われる際は一般利用者の迷惑にならないようお願いいたします。
- 試合中、ボールが陸上コースに出た場合はスパイクのまま取りに行って構いません。
- ゴールラインの外側はかなりスペースがありますので、ボールを取りに行くのにかなり時間を要してしまいます。各チーム人員に余裕があればBPをつけたほうが良いです。
- ピッチサイドへの飲み物の持ち込みは水のみとなります。

